梅若会 緑鷹会 演能会

能 **小袖曽我**

鷹尾章弘

鷹尾雄紀

仕舞 **橋弁慶**

鷹尾維教

田中佑京

声明公演

令和８年５月24日(日)

会　場：　大濠公園能楽堂
(TEL：092-715-2155)
福岡市中央区大濠公園 1-5

開　演：　第一部　無料公演11時（開場10時半）
第二部　有料公演12時（開場11時半）

入場料：　**全 自由席**
大人 11,000 円
高校生・大学生 3,000 円

※未就学児から中学生までは無料でご覧いただけます。
※学生証や生徒手帳等 身分が証明できるものをご持参ください。

チケット予約
公演内容などのお問い合わせ方法

①電　話　TEL 092-711-8005（FAX 兼）
②メール　takanokai2017takao@gmail.com
③LINE　左の QR コードを読み取り
「薬院鷹の会能舞台～BAR 愛鷹～」を
友だち登録してトーク画面からご連絡ください

大濠公園能楽堂ロビーにて、鷹の会をご支援いただいている企業や、文化交流のための展示ができるよう準備を進めています。

鷹の会
ウェブサイト

主催：梅若会・株式会社鷹の会　福岡市中央区薬院 2-8-5　HP https://takanokai.jp/
後援：緑鷹会・緑申会・緑菱会・安藤皮膚科医院・看公税理士法人・（株）大興社
（株）明治産業・ヤマシタヘルスケアホールディングス（株）・山田工業（株）

令和８年５月24日(日)
梅若会・緑鷹会 演能会

会 場： 大濠公園能楽堂

第一部

社中の方による発表会
十一時 開始（無料公演）

連吟
羽衣
安藤 恭子　向坂 邦子
森脇 幸恵　西岡 慶子
田尻祥知子　太田 耕子
山口 春美　中島 滋子

田村
黒岩 延峰　山村 晃司
古川 善巳　宮原 陸人
田代 研児　鶴 辰巳
安藤 謙治　山下 尚登
牛嶋 泰雄　多久島 隆
樋口 久人

仕舞
玉葛　向坂 邦子
放下僧（クセ）　太田 耕子
養老　黒岩 延峰
善知鳥　田代 研児
実盛（キリ）　樋口 久人
国栖　山下 尚登

地謡
鷹尾 雄紀
鷹尾 章弘
鷹尾 維教
角当 直隆

第二部

能公演
十二時 開演（有料公演）

はじめに本日の演目をわかりやすく解説します（二十分）

声明
九條錫杖
諸天漢語讃
天台宗九州仏教青年会
天台宗九州東教区仏教青年会
天台宗聲明兵庫社会奉仕會

仕舞
猩々　中村 史忠
橋弁慶　田中 佑京
鷹尾 維教

地謡
鷹尾 雄紀
鷹尾 章弘
山崎 正道

舞囃子
野守　梅若 景英
白坂 保行　吉谷 潔
幸 正佳　森田 光次

地謡
鷹尾 雄紀
永島 充
梅若 紀彰
今村 一夫

仕舞
邯鄲　鷹尾 維教
白坂 保行　吉谷 潔
幸 正佳　森田 光次

地謡
山崎 友正
山中 逸晶
山崎 正道
小田切 亮磨

仕舞
頼政　梅若 紀彰

地謡
今村 一夫
永島 充
角当 直隆
坂 真太郎

―休憩二十分―

能
母　松山 隆之
団三郎　小田切 亮磨
鬼王　山崎 友正
五郎　鷹尾 雄紀

十郎　鷹尾 章弘
小袖曽我
白坂 保行
幸 正佳　森田 光次

春日局　野村 万禄

後見　今村 一夫
山中 逸晶

地謡
坂 真太郎
永島 充
角当 直隆
鷹尾 維教
梅若 紀彰
山崎 正道

午後四時頃 終了予定

能「小袖曽我」あらすじ
―父の仇討ちへ行く兄弟の前日譚。母子の物語。

曽我十郎祐成（すけなり・シテ）と弟・五郎時致（ときむね・ツレ）は幼い頃に父を殺されました。
やがて元服した兄弟のもとに、父の仇討ちの機会が訪れます。

仇討ちに向かう前に、兄弟は母を訪ね、別れを告げようとしますが
実は弟・時致はかつて「出家せよ」という母の言いつけを破ったため勘当されており、会うことさえ許されません。
兄・祐成は、弟を許してほしいと必死に訴えますが、兄弟そろって勘当するとまで言い渡されてしまいます。
母の意思は固く、兄弟は泣く泣くその場を立ち去ることに。

去っていく兄弟の姿を見て、耐えかねた母はついに思いを翻し、二人を引き止めて許します。
嬉し涙を流す兄弟。久しぶりに心を通わせた三人は宴を開き、門出の前に兄弟は名残の舞を舞います。
こうして兄弟は、悠々とした姿で父の仇討ちへと旅立つのでした。

鷹の会ウェブサイト

チケット予約
公演内容などのお問い合わせ方法

① 電　話　TEL 092-711-8005（FAX 兼）
② メール　takanokai2017takao@gmail.com
③ LINE　左の QR コードを読み取り
「薬院鷹の会能舞台～BAR 愛鷹～」を
友だち登録してトーク画面からご連絡ください

声明（しょうみょう）とは
経文や真言に旋律抑揚を付けて唱える仏教声楽曲

声明（しょうみょう）は、天台宗に伝わる仏教声楽です。
伝教大師最澄が唐より伝え、慈覚大師円仁が体系化。
のちに良忍が大原・魚山に道場を開き
今日まで受け継がれてきました。
平安時代には雅楽・舞楽とも結びつき
現在も法要や舞楽法要で大切に奏でられています。